

6．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果

企業に対し女性に魅力ある職場づくりを支援することにより、若年女性の定着につながる企業の増加が図られる。

指標名

支援を通じて女性登用や子育てしやすい環境整備を目標に設定した行動計画数

指標の種類

● 成果指標

○ 業績指標

指標式

本事業の支援を通じて、女性の登用や子育てしやすい環境整備を目標に設定した企業の行動計画策定数（年度末）

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a			50	55	60	65	70	
実績b	40		データ等の出典					
東 北			本事業における一般事業主行動計画策定支援に係る実績報告書					
全 国								

把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 04月 ○ 翌々年度 月

指標名

指標の種類

● 成果指標

○ 業績指標

指標式

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a								
実績b			データ等の出典					
東 北								
全 国								

把握する時期 ● 当該年度中 00 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法

指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

これまでの支援により、一般事業主行動計画の策定企業数は順調に増えているものの、その取組内容は、従業員への制度周知など、短期的に改善できるものが多く見られ、若年女性に魅力ある企業として求められる多様な労働条件の整備などの職場環境が未だ十分に整っておらず、質の高い魅力ある職場づくりに取り組む企業への支援を行う必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性

秋田県総合政策審議会ふるさと定着回帰部会において、若者の県内就職を促進するため、県内企業の情報発信力や学卒等の採用力の向上に向けた支援を行うべきとの意見があり、若年女性に魅力ある職場環境の整備は、企業のイメージアップが図られ、情報発信力や採用力の向上につながるため、必要な支援である。

事業の県関与の必要性

□ 法令・条例上の義務 □ 内部管理事務 ■ 県でなければ実施できないもの

□ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

若年女性の県内定着の促進は県全体で取り組む必要があるほか、これまでの支援で蓄積してきたノウハウや企業情報を活用することで、効果的に若年女性に魅力ある職場環境の整備に向けた支援を行うことが可能である。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○ 重点事業

○ その他